

| | | |
|--|---|------------|
| 請願第10号 | 受理年月日 | 平成25年10月1日 |
| 付託委員会 | 教育水道委員会 | |
| 紹介議員 | 石田 康高、荒川 徹、野依 謙介、柳井 誠、藤沢加代、大石 正信、波田 千賀子、八記 博春、田中光明 | |
| 請願者 | 北九州市若松区小糸町12-8 子ども達にあたたかい学校給食をとどける会 代表 三輪 俊和（署名10,743名） | |
| 件名 | 子供たちに温かい学校給食を届けることについて | |
| <p>H25.10.29: 1,957名追加 H25.11.18: 605名追加 H25.12.13: 27名追加 H26.1.20: 55名追加</p> | | |
| 要旨 | | |
| <p>学校給食法は、学校給食は児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであるとうたっている。</p> <p>本市の学校給食は、平成23年度からの中学校給食の全校実施により児童生徒約8万人に提供されることとなり、小学校から中学校までの学校給食による食育の仕組みができた。</p> <p>しかし、中学校給食では冷凍加工食品の使用が増加していること、給食全体では地元産野菜の使用量が13～14%にとどまっていること、冷凍野菜・缶詰・果物・乾物類では輸入品が使用されていることなど、食材の使用については改善する必要がある。</p> <p>また、全額が保護者負担となっている給食費の月額は、小学校3,500円、中学校4,500円であり、平成12年の値上げ以降、据え置かれたままのため、食材として牛肉が使用できないなど献立内容に影響が出ている。</p> <p>義務教育である小・中学校の給食は教育の一環であり、保護者の経済的負担の軽減や学校給食を充実させるための子育て支援は、自治体本来の役割でもある。東京都江戸川区は学校給食費の1/3、福岡県太刀洗町は月額1,000円を補助し、安全安心で豊かなおいしい学校給食の実現を目指している。</p> <p>学校給食の民間委託率は全国で31.1%だが、本市では既に7割と</p> | | |

(続 く)

なっている上、特別支援学校以外の全面委託を計画している。平成6年以降、調理士の新規採用はなく、今後、高い専門性と豊かな経験を持つ熟練した調理士がいなくなり、アレルギー食など栄養士とともに進めてきた献立内容の改善が困難になる。本市の学校給食を一層充実させるためにも、これ以上の民間委託はやめ、直営校での調理業務の存続を図ることが求められる。

本市は、市街地周辺に田畑や海が広がり新鮮な食材が手に入る恵まれた町であり、子供たちが地元の自然や文化のすばらしさを再発見し、食の大切さを育むことができる地産地消運動も推進している。本市が子育て日本一を実現することができるよう、子供たちに温かい学校給食を届けるために、下記の項目を実施されることを求める。

記

- 1 給食の食材は、安全で新鮮な地元でとれた農水産物を使用し、献立内容を充実すること。
- 2 給食費の一部補助を市が行うこと。
- 3 特別支援学校以外の調理業務直営校を存続させること。